

平成 17 年度第 2 回北海道ブロック協議会 第 2 回北海道代協常任理事会 議 事 録

平成 17 年 7 月 22 日(金)pm1:00～5:00
於: 北海道厚生年金会館 清流の間

出席者

日代協副会長	工藤和夫	秋	専務理事	町野泰明	札	教育	壽時 康二	札
本部常任委員	高梨重勝	函	常任理事	富田明久	小	企画環境	林 昌宏	旭
会長	向出明彦	札	常任理事	松浦 則雄	苫	組織	多和康司	千
副会長	阿部 實	札	常任理事	羽田武史	函	地球環境	梅基伸男	札
副会長	石岡憲義	函	常任理事	森 優	帯	広報	坂本和正	札
副会長	長谷部幹夫	旭	常任理事	長尾忠正	旭	年金基金	見上峰夫	札
副会長	長谷川勇	帯	常任理事	間 光夫	千	事務局長	末原正二	札
副会長	山本 宏	釧	常任理事	工藤龍蔵	室	事務局員	藤田和代	札
			理事	木下裕章	小			
			理事	山崎善仁	札			

司 会 専務理事 町野 泰明

1、開会の辞(山本 宏)

2、会長挨拶(向出 明彦)

● 我々代理店活動の取り巻く環境は厳しく(銀行窓口販売の全面解禁、郵政民営化法案審議)変化している。また保険会社においても明治安田生命社、保険金支払い問題がおきてきている。

コンプライアンスの遵守を心して代理店活動をしなければならない。

3、日本代協副会長挨拶(工藤 和夫)

● 現在、日本代協が取り組んでいる事項は次のようなものがある

イ、「銀行の窓口販売拡大阻止の運動」について

現状については「日本代協 FAX INFORMATION 6月10日付」参照

ロ、特定契約、特定代理店の件

ハ、各単協の法人化への推進

二、保険商品の販売勧誘のあり方に関する検討チームへの参加

4、募集規範の朗読(間 光夫)

5、承認事項

- 室蘭支部に常任理事の変更の件が承認された。

小山田勝彦氏から工藤龍蔵氏に変更

6、報告事項



[Ⅰ]平成17年度日本代協総会報告(向出 明彦)

- 日本代協発行5月6日付「平成17年度通常総会召集のご通知」、7月8日付「日本代協ニュース」参照。

- 今年度については総会運営が閉鎖的だった印象を持った

[Ⅱ]平成17年度第1回理事会報告(向出 明彦)

- 配布資料「平成17年度 第1回 理事会議事録」参照

[Ⅲ]各委員会報告

① 企画環境委員会(林 昌宏)

- 配布資料「日本代協 平成17年度 第2回企画環境委員会」参照。

- 「個人情報保護に関する研究」最終答申、資料参照

- 各支部は「消費者団体との対話活動」の実施予定を8月中までに事務局 藤田さんへ連絡してほしい。

② 教育委員会(壽時 康二)

● 保険大学第8期申し込み状況(7月20日)

支部名	目標	現在	見込み	最終計
札幌	10名	2名	8名	10名
室蘭	2名	0名	0名	0名
旭川	4名	1名	3名	4名
小樽	1名	1名	0名	1名
苫小牧	2名	0名	2名	2名
千歳	2名	2名	1名	3名
函館	5名	5名	1名	6名
釧路	4名	3名	1名	4名
帯広	4名	4名	0名	4名
合計	34名	18名	16名	34名

● 更新研修について今後各期が重複してくるのでその対応を検討中

● 認定代理店制度の件について、北海道代協として時期尚早との意見が強く

検討の議論にはならなかった。

③ 組織委員会(多和 康司)

● 7/6に本部第1回組織委員会が開かれ、北海道代協では9会員の増強を目標とした。できれば全体において500会員を目標としているが現時点では13会員の減少を見ており、「代理店賠償責任保険」の加入をツールとして更なる協力をお願いしたい。

● 「地震保険」の普及について、10月ころキャンペーンを予定している。

● メールの推進を図っている。普及率は全体で59%、北海道代協では54%

④ 地球環境委員会(梅基 伸男)

● とくに報告はないが、日本代協では昨年より5年間「知床財団」に年間10万円を寄付することとなった。

⑤ 国民年金基金推進委員会(見上 峰夫)

● とくに報告はないが、9月に本部会議がある。

⑥ フォローアップ委員会(高梨 重勝)

- 9月に最後の委員会が開かれ、10月の理事会に報告される。
- 単協の法人化への支援策を模索しているが厳しい単協も予想される。
- 単協の運営について、会員の増強、準備金の手当て、収益事業について、事務所問題等々、の問題点が残っている。

7、審議事項

1、「人材育成」準備委員の選出(山本 宏)

- 日本代協のプログラムに入っており、今年度については北海道代協での開催となり、年内に開催したい。
- 準備委員長に長谷部幹夫氏(旭川)が承諾された。
- 2回くらいの委員会を開き準備を進めたい。

2、「法制委員会」準備委員の選出(長谷部 幹夫)

- 日本代協法制委員会が設置されており、諸問題を法律の面から討議している。北海道代協においてもかねてより要請があり、設立したい。
- 準備委員長に羽田武史氏(帯広)が承諾され、後日各支部に委員の推薦を要請した。

3、公開講座開催の件(阿部 實)

- 開催地は札幌市とし、準備委員長には壽時康二氏(札幌)が承諾された。

4、支部ミーティング開催地の選定(向出明彦)

- 各支部へ北海道代協役員が出向き、各支部の会員と交流を深める。
- 今年度については、小樽、千歳支部を予定したい。

5、日本代協保険大学第8期募集について(壽時 康二)

- 今年度新入会員へ働きかけてほしい。上記参照。

6、認定保険代理店制度について(長谷川 勇)

- 本部理事会でも意見が分かれている。出席者の意見を聞きたい。
- 主な意見として

イ、制度の設立は、国家資格が認められてからでもよいのではないか

ロ、保険会社との整合性を考えると、時期尚早ではないか。

ハ、保険会社を巻き込んでの議論が必要ではないか。

ニ、今の時期での議論は時代遅れになってしまった感があるので、本部理事会へ差し戻してはどうか。

7、政連会員の募集と会費について(町野 泰明)

- 政治連盟への加入会員を増やしてほしい。
- 会費振込用紙の案内が周知されておらず、確認して再度要請する。

8、その他

- 会議の薦め方を考えてほしい。
- 会議の進行中、各支部の問題点を聞いてもらう項目を設けてもらいたい。
- 正会員の会員番号の変更が見られるので確認してもらいたい。
- 「総合警備保障株式会社」とのセキュリティ協力体制の構築について、説明があった。

8、閉会の辞(長谷川 勇)